

INFORMATION

臨床実践の現象学会第10回大会

- 日時：9月5日(土)～6日(日)
- 会場：東京女子大学9号館、25号館2F(東京都杉並区)
- テーマ：現象学の力
- プログラム：大会長講演／大ラウンドテーブルディスカッション「現象学の力って何？」孫大輔(鳥取大学医学部地域医療学講座准教授)、池田喬(明治大学文学部教授)、坂井志織(東京都立大学健康福祉学部客員准教授)／ポストセミナー「現象学の言葉って難しい?」、一般演題
- 参加登録期間：[事前]8月28日(金)まで
- 参加費：[事前]大会3000円、ポストセミナー1000円、[当日]大会4000円、ポストセミナー2000円
- 問い合わせ先：大会事務局
E-mail: jscp@clinical-phenomenology.jp
URL: <https://www.clinical-phenomenology.jp>

第67回日本母性衛生学会学術集会

(ハイブリッド開催)

- 日時：10月9日(金)～10日(土)
- 会場：大津市民会館、琵琶湖ホテル(いずれも滋賀県大津市)
- テーマ：琵琶湖からみんなに届け一生涯健康
- プログラム：会長講演「症状が無くともセルフ・ヘルスケアー婦人科がん研究で学んだことから」越山雅文(滋賀県立大学前大学院教授)／理事長講演「分娩費用等の保険化と母性衛生について考える」正岡直樹(日本母性衛生学会理事長、共立習志野病院院長)／特別講演①「いま変貌しつつある産婦人科医療の展望」万代昌紀(日本産科婦人科学会理事長、京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学分野教授)／②「シェアード・ディビジョンメイキング(SDM)ーこれからの周産期医療への期待」中山健夫(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野教授)／③「ステージⅣの舌ガンを乗り越えて生きるーキャンサーギフト・大切な家族」堀ちえみ(歌手、俳優)／④「がんと生活習慣」松村謙臣(近畿大学医学部産科婦人科学教授)／⑤「最新のマイクロ流路によるCTC測定」八重樫徹(株式会社日本遺伝子研究所R&D Team研究所副所長)／教育講演①「思春期とSRHR(セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)」北村邦夫(日本家族計画協会会長)／②「地方から女性の生涯健康を考える」馬場長(岩手医科大学産婦人科学教授)／③「産科診療Up to Date」近藤英治(熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学講座教授)／④「今こそ取り組むプレコンセプションケアーその現状と課題」坂上明子(武蔵野大学看護学部教授)／⑤「チーム医療教育ー時代の変化に挑む」島袋香子(北里大学名誉教授、大阪信愛学院大学学長)／⑥「栄養から支える母子の未来ー妊娠前・周産期・産後の食生活支援」白石三恵(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授)／⑦「早産と前期破水ー子宮内出血の観点から」最上晴太(国立成育医療研究センター女性の健康総合センター

女性の健康医学研究部部長)／⑧「わが国における妊娠の栄養管理の歴史の視点から児の長期的な健康を考える」伊東宏晃(浜松医科大学医学部特命研究教授・名誉教授、藤枝市立総合病院顧問)／シンポジウム①「妊娠・分娩・産褥のヘルスプロモーションー大阪でのヘルスプロモーションの実践」加藤由紀子(大阪公立大学医学部附属病院女性診療科[産科]副院長)、西野淳子(大阪府助産師会産前産後ケアセンター理事)、尾原ゆり子(大阪市北区役所健康課保健主幹)／②「やっぱり守りたい母乳育児ー様々な場でIBCLCの能力を活かす」水村友香(日本赤十字社医療センター助産師学校専任教員、助産師、IBCLC)、大坪三保子(たちね助産院院長、IBCLC、助産師)、布川まゆみ(緑の森こどもクリニック、助産師、IBCLC)／③「産む力、生まれる力、育つ力を発揮するために一助産院の未来の姿とは」湯川竹子(高石市立母子健康センター、助産師)、長濱真由(広島県助産師会立たから助産院副院長、つばみ助産院院長)、塩見直美(musubi助産院院長)、齊藤智孝(共同助産所お産子の家助産所代表)／④「日本各地での周産期医療の問題点と対策」新垣達也(昭和大学医学部産婦人科学講座講師)、加藤真紀子(隠岐病院3階西病棟看護科科長・助産科科長)、富田美弥(東北大学病院産婦人科助産)、森真由美(美ら海ハシイ産婦人科院長)、仲澤美善(NTT東日本札幌病院産婦人科診療医)／⑤「妊産婦の心身の健康と生活援助支援」佐藤拓代(母子保健推進会議、全国妊娠SOSネットワーク会長・代表理事)、廣瀬みどり(ポ・ドームダイヤモンドルーム室長)、谷川瑞穂(小鳩乳児院・こばと子ども家庭サポートセンター相談員[助産師])、林文子(愛知医科大学看護学部講師)／学会指定研修／ワークショップ／市民公開講座／ほか

- 参加申込期間：[早期]9月15日(火)まで、[通常]9月16日(水)～11月30日(月)17:00
- 参加費：[早期]会員1万2000円、非会員1万4000円、学生2000円、[通常]会員1万4000円、非会員1万6000円、学生2000円
- 申込方法：Webサイトより
<https://kzd.event-ope-service.com/type9/user/top.html?event=M6vR8Hli00072>
- 問い合わせ先：運営事務局
〒162-0833 東京都新宿区筆筈町43新神楽坂ビル2階
有限会社ビジョンブリッジ内
TEL: 03-5229-6888
E-mail: jam40@intergroup.co.jp
URL: <https://supportoffice.jp/jsmh67/>

第20回看護教育研究学会学術集会

- 日時：10月24日(土)9:30～17:30
- 会場：日本大学文理学部 百周年記念館2階国際会議場(東京都世田谷区)
- テーマ：次世代につながる看護教育の創造ー学生の持てる力を可視化し、省察を基盤とする看護教育
- プログラム：学術集会長講演「挑戦をためらう学習者と看

INFORMATION

護教育」松本賢哉（京都橋大学看護学部教授）／特別講演「次世代の看護を創る教学マネジメント—看護学教育モデル・コア・カリキュラムを活用した『持てる力』の可視化と省察の促進」荒木暁子（東邦大学看護学部教授）／ほか

■演題募集期間：7月21日（火）12：00まで

■参加申込期間：9月30日（水）まで

■参加費：[事前] 一般5500円、[当日] 一般6000円、学生（大学院生含む）1000円（当日学生証提示）

■問い合わせ先：第20回学会事務局

E-mail：congress2026@nihonkango.jp

URL：http://nihonkango.jp/conference.html

第28回看護国際フォーラム

■日時：10月24日（土）13:00～16:20

■形式：Zoom開催

■テーマ：看護職のウェルビーイングを支える—モラルディストレスを超えて、個人と組織が調和する未来へ

■プログラム：講演1「看護職のモラルディストレスと向き合い、ウェルビーイングを考える」奥裕美（聖路加国際大学大学院看護学研究科教授）／2「看護職のウェルビーイング向上を支える—持続可能な職場環境の構築」吉住房美（社会医療法人敬和会大分岡病院副院長・看護部長）／録画講演「セルフケアから組織改革へ—個人のウェルビーイングと組織戦略をつなぐ」Amy Witkoski Stimpfel（ピラノバ大学M. ルーズ・フィッツパトリック看護学部准教授）／総合討論：奥裕美（聖路加国際大学大学院看護学研究科教授）、吉住房美（社会医療法人敬和会大分岡病院副院長・看護部長）

■参加申込期間：10月16日（金）まで

■参加費：無料

■参加申込方法：下記URLより

■<https://forms.gle/esfXbvfp3KnxHeRq9>

問い合わせ先：大分県立看護科学大学看護国際フォーラム担当

E-mail：forum2026@oita-nhs.ac.jp

URL：https://www.oita-nhs.ac.jp/site/generalpublic/28th-forum.html#gsc.tab=0

第14回大阪府看護学会（ハイブリッド形式）

■日時：[現地] 12月6日（日）9:30～15:40（予定）、[オンデマンド配信] 12月15日（火）～2027年1月26日（火）

■会場：大阪府看護協会 ナーシングアート大阪（大阪市）

■テーマ：多様性×看護—想いをミライに紡ぐ共創

■プログラム：特別講演「多様な役割が活きるチーム作り（仮）」今成亮太（元阪神タイガース選手、野球解説者、株式会社V.C代表取締役社長）／教育講演「多様性が医療にもたらすもの（仮）」坂口教子（大阪大学免疫学フロンティア研究センター招聘教員）／ランチョンセミナー（予定）／ほか

■演題募集期間：7月17日（金）15:00まで

■参加申込期間：[現地] 9月1日（火）10:00～11月27日（金）15:00、[オンデマンド配信] 12月25日（金）15:00まで

■参加費：会員6600円、非会員1万1000円、学生無料

■問い合わせ先：運営事務局

〒530-0044 大阪府大阪市北区東天満

2-7-12 スターポート 株式会社アステム内

E-mail：society-help@astem-co.jp

URL：https://www.osaka-kangokyokai.

or.jp/nursing_society/



第15回日本公衆衛生看護学会学術集会 （ハイブリッド開催）

■日時：[現地会場] 12月19日（土）～20日（日）、[オンデマンド配信] 12月19日（土）～2027年2月20日（土）

■会場：神戸国際会議場（神戸市）

■テーマ：多分野共創が拓くVUCA時代の公衆衛生看護—異なる専門知を融合し、健康社会を創造する

■プログラム：会長講演／基調講演／特別講演／シンポジウム／公衆衛生看護セミナー／特別企画／市民公開講座／一般演題／ワークショップ／会員集会／ほか

■演題登録期間：6月1日（月）～8月31日（月）（予定）

■参加登録期間：[前期] 6月1日（月）～9月30日（水）、[後期] 11月9日（月）～2027年2月20日（土）

■参加費：[前期] 会員1万円、非会員1万1000円、[後期・当日] 会員1万1000円、非会員1万2000円、学生（社会人院生を除く）：5000円

■問い合わせ先：運営事務局

〒456-0005 愛知県名古屋市中熱田区池内町3-21 株式会社ユピア内

TEL：052-872-8101（平日10-16時）

FAX：050-3737-7331

E-mail：japhn15@yupia.net

URL：https://japhn15.yupia.net/index.html

※掲載している情報は2026年8月31日時点のものです。最新の情報は主催元にご確認ください。